



センターだより

第31号 令和6年4月8日

イエス!

自分にイエス!⇔自己肯定感

白岡市教育支援センター



自分で決めたから自分を変えられる

所長 蔦澤 透

教育支援センターの目的は、不登校児童・生徒の[社会的自立]に資する能力の習得・伸長です。子どもたちには、具体的な目標として高等学校への進学を示しています。

さて、昨今、不登校児童・生徒は急激に増え、令和4年度には30万人弱となりました。(R5.10.4文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」)

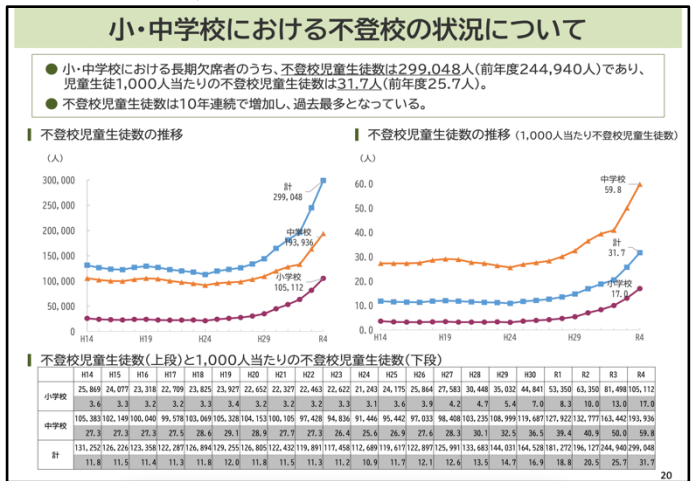
不登校の要因では[無気力・不安]が半数を超えています。当人にも明確に理由を示すことができず「登校したくてもできない」状態ということです。原因を特定する事は困難でしょう。また、事例をあげて理由づけしても不登校の解消につながるとは思えません。

小・中学校における不登校の状況について

不登校の要因

不登校の要因	児童生徒数	学校に係る状況										家庭に係る状況					本人に係る状況		
		欠席	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	欠席の理由	
小学校	105,112	318	6,912	1,901	3,376	277	30	786	1,914	3,379	12,746	1,599	13,209	53,472	5,193				
中学校	193,936	356	20,598	1,706	11,169	1,837	839	1,315	2,389	4,343	9,441	3,232	20,790	101,300	9,627				
合計	299,048	674	27,510	3,607	14,545	2,114	869	2,101	4,303	7,122	22,187	4,831	33,999	154,772	14,814				

※「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。  
※ 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。



反面、[登校する][センターに毎日通室する]という変容には明確に理由があります。それは、「自分で決めた」ということです。学校に復帰した児童・生徒は、機会をつかみ「自分で決めて」登校するようになりました。センターに毎日通う生徒にも「～したい/なりたい」という思いがあります。「自分で決めた」ということが[主体的行動]の原動力です。

今年度もまずは、安心して居られるセンターにします。そして、自信をもって自己決定できるよう支援していきます。

職員紹介

[勤務日] 月 火 水 木 金

よろしくお願ひします

所長	つたざわ	○	○	○	○	○
学習支援員	あまの	○	○			○
	こいで				○	○
	あんどう	○				○
	こやけやま		○	○	○	
	ほそい	○	○	○		
教育相談員	なかむら				午前	予約制
福祉相談員	あらい			○	○	○



センターの出入口案内

